



から販売までを通した地域活性に向けた施策としての取り組みを見てきた。

いずれも地域の課題を行政がリードして地域の人がそれを実践する。

官民一体となった発想と行動が我々の地域づくりにも参考にできるものと実感して研修の成果とする。

研修風景  
(奥州市子どもの居場所づくり)



### 建設経済委員会

平成19年7月23日～7月25日  
北海道 滝川市人口 44,908人  
札幌市人口 1,899,344人

滝川市では、平成3年から菜の花の試験栽培が始まり15年に環境都市宣言を行

い、国のバイオマス、ニッポ物資源化システム、「RE PRES」を視察した。この廃棄物資源化システムは生ごみ、家畜糞尿、草木や廃タイヤ等様々な廃棄物が処理できる。この施設は熱分解方式の炉であるが、ごみ焼却炉ではない熱分解によって炭水化物とガスに分離させ炭水化物は固形燃料、脱臭剤、土壌改良剤等となり、熱分解ガスは発電ボイラーの燃料として使用する。今回の研修は、今後のごみ問題に、参考になる研修であった。

研修風景 滝川市)



かし本プロジェクトの核となる菜種栽培が、国の補助が廃止されることで危機的状況に陥り、プロジェクトの見直しを余儀なくされる可能性が出てきている。資源循環型システムの構築は、筑後市でも早期に検討、実施する必要があるが、その際には経済的な視点で検討を行う必要があることを痛感した。

札幌市にある「株プラント機工」では、可燃性廃棄

## 議会の主な動き

平成19年 8月	1(水) 総務文教委員会視察研修
	2(木) 総務文教委員会視察研修
	9(木) 福岡県南広域水道企業団協議会(企業団議場)
平成19年 9月	20(月) 八女西部広域事務組合議会定例会(クリーンセンター)
	27(月) 福岡県市議会議長会議員研修(福岡市民会館)
	29(水) 下水道事業調査対策特別委員会(第2委員会室)
	5(水) 九州新幹線講演会(石橋文化センター)
平成19年 10月	9(日) 筑後市消防団員のポンプ操法大会(市民の森公園)
	21(金) 下水道事業調査対策特別委員会(第1委員会室)
	3(水) 京都府福知山市視察来庁
	4(木) 第102回福岡県南市議会議長会(太宰府市)
	12(金) 福岡県市議会議長会(小郡市)
	13(土) 筑後市戦没者追悼式(サザンクス筑後)
	17(水) 宮城県多賀城市視察来庁
25(木) 岐阜県多治見市視察来庁	
31(水) 東京都練馬区視察来庁	

今定例会の  
傍聴者延数  
102人

昨年9月定例会の  
傍聴者延数  
30人



馬肥ゆる秋を迎え、少しは過ごしやすくなった今日この頃。筑後市議会も新しい議員全員が一般質問を行うなど、活気ある決算議会を終了することができた。

いま筑後市だけにとどまらず、地方自治体は厳しい航海を余儀なくされている。議会は執行部との一定の緊張関係を保ち、チェック機能を果たすことが求められている。市民のみなさんと共に歩く議会でありたいとの願いをこめて議会報の編集にあたった。

これからも、市民読者の意見、感想を寄せていただくことが、また力となる。

大

ちくご市議会だより

編集特別委員会

- 委員長 貝田 義博
- 副委員長 五十嵐 多喜子
- 委員 大城 敏彦
- 委員 松竹 秀樹
- 委員 矢加部 茂晴
- 委員 田中 親彦



古紙配合率100%再生紙を使用しています。